

新型コロナウィルス感染拡大防止における結婚式ガイドライン



結婚式 Q&A 集



はじめに

こちらの結婚式Q&A集は経済産業省からの指示により公益社団法人日本ブライダル文化振興協会(以下BIA)より発表された結婚式場業「新型コロナウィルス感染拡大防止ガイドライン」や厚生労働省などの発表次項をもとに、ザ・ミーニッツが加筆・再編集したものです。たくさん的情報があふれる中、冷静な判断をなさる上でのお役に立てればと思います。withコロナの現状と向き合い、お集まりになるゲストの皆様にお二人のお気持ちが伝わり、安心感を得て頂ける結婚式が叶いますよう願っております。

Q 1

結婚式にかかる一般的な所要時間は挙式30分、披露宴2時間30分ですが、短縮することに効果はありますか?換気することに効果がありますか?

仮に感染者が参列をしていたとして、ウイルスに対する暴露時間が長いほど、感染のリスクは上昇することが考えられますので、時間短縮することに感染のリスクを抑える効果はあるかと思います。ただし挙式・披露宴時間の劇的な短縮は難しい場合が多いため、時間を短くすることによる効果だけではなく、「感染しうる環境」をいかに作らないかに注力するのが望ましいと考えます。その「感染しうる環境」を作らないひとつ的方法として、換気は有効だと考えられます。

厚生労働省の発表によると、密閉空間を改善するための換気の方法として「窓の開放による方法」が有効とされており、換気回数は『30分に一回以上、数分間程度、窓を全開する。』ことが推奨されています。

一般的な披露宴では、同じ空間に長時間大勢の人が滞在する傾向があるため、披露宴の時間を短縮したり、30分に一度換気が行えるような会場の利用の仕方を検討する必要があります。

Q 2

チャペルや神殿など安全性が高いのはどんな場所?賛美歌は歌っても良いでしょうか?

厚生労働省では、以下の事項がクラスター感染発生のリスク回避につながると提言しています。

- ①換気を励行する
- ②人の密度を下げる
- ③近距離での会話や発声、高唱を避ける

これを踏まえて、ザ・ミーニッツでは、外気を十分に取り入れられる屋外での挙式に変更、列席人数を親族や家族のみに限定し人数を減らす、賛美歌は参列者の合唱を控え聖歌隊などによる生歌は飛沫感染防止距離の確保ができない場合、CD音源への変更を推奨しています。

Q 3

ゲスト同士が近づく状況を作らないために席と席の距離を開けることで効果はありますか?また工夫できることはありますか?

BIAのガイドラインによると、**挙式会場において参列者は、隣席との十分な間隔を開けること、披露宴会場は、出来るだけ広めの会場を手配し、席の間隔は飛沫感染が防げる十分な間隔をあけることを推奨しています。**

『十分な間隔』とは、1m以上を目安として、少なくとも隣の席とは1席程度の間隔を開けることを推進しています。ザ・ミーニッツでは、通常8名～10名様で座るテーブルを6名でご利用頂くことでゲスト同士の距離を1m以上確保することができます**ガイドラインに沿った配席によるザ・ミーニッツにおける各会場の収容人数は以下の通りです。**

挙式会場

瑞宝殿	20名
ザ・アクアレイ	44名

披露宴会場

ザ・デイダイニング	72名 (6名掛け×12卓)
ザ・グランドホール	156名 (6名掛け×26卓)
ザ・ライト	20名

Q 4

料理やドリンクをサーブする際に気を付けるべきことは?料理の提供スタイルについて

ピュッフェスタイルでの料理提供は、ウイルスが付着しているかもしない手で触ったトングをゲスト同士で使いまわすこと、会話などで飛沫が付着したかもしれない食品をシェアするという面で、個別の食事よりリスクが高まることが考えられます。

BIAのガイドラインにおいても料理の提供は個人盛りとし、大皿での提供は推奨されていません。また、お酌をしあうことは、食器などを介した接触感染が広まるリスクを高めるため避けることを推奨しています。

Q 5

結婚式中、会場のスタッフがゲストのカメラを預かり撮影することは危険ですか?

厚生労働省より「感染者がくしゃみや咳を手で押された後、自らの手で周りのものに触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し感染者と直接接触しなくても感染します。」と提言されています。

ゲストのカメラやスマホも同様と考えられるため、食事を提供する披露宴の場では、カメラをお預かりしての撮影をお断りさせていただいておりますが、ご了承いただければ幸いです。

Q 6

祝辞や友人スピーチで使用するマイクの使い回しは危険ですか?

マイクは口元に使用することから、使用者の飛沫が付着する可能性が高いと言えます。次の使用者が、前の使用者の飛沫が付着した部分に触れることでウイルスが手に付着し接触感染を起こす可能性が考えられます。

ザ・ミーニッツでは、マイク使用の都度にアルコール消毒を行います。

Q 7

会場入り口などでアルコール消毒を呼びかけていますが、どの程度効力があり、何時間に1回行うがベストなのでしょうか？

WHOの手指衛生ガイドラインによると、アルコールによる手指消毒を正しく行えば、ほとんどの微生物（ウイルス含む）を除外できるとされています。注意すべき点として、アルコール消毒は、それまで手に付着していたウイルスを不活性化する効果はありますが、揮発性が高く効果が維持しないという特徴があります。

よって何時間に一回ではなく、汚れた可能性がある都度行なうことが原則です。新型コロナウイルスだけではなく、他の病原体を近づけないという観点でも、不特定多数の人が触れるもの、お手洗いの後、食事の前など、効果がより期待できる場面で円滑に消毒を行えるよう館内各所にアルコール消毒を設置しておりますのでご利用下さい。また、不特定多数の人が触れるもの（ドアノブ・椅子・テーブル・エレベーターのボタンなど）は、使用前後、定期的に清拭消毒をしております。

Q 8

料理を盛付提供する過程で感染する可能性はありますか？

厚生労働省によると「2020年4月1日現在、食品（生で喫食する野菜・果実や鮮魚介類を含む。）を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。製造、流通、調理、販売等の各段階で、食品取扱者の体調管理やこまめな手洗い、アルコール等による手指の消毒、咳エチケットなど、通常の食中毒予防のために行っている、一般的な衛生管理が実施されなければ心配する必要はありません。」としています。ザ・ミニッツでも調理の際の衛生管理は徹底しております。

Q 9

料理人やサービススタッフで作業従事の時点で自覚のない無症状病原体保持者がいた場合、感染する可能性はありますか？

厚生労働省による無症状病原体保持者に関する記載は、「通常、肺炎などを起こすウイルス感染症の場合、症状が最も強く表れる時期に、他者へウイルスを感染させる可能性が最も高くなるとされています。したがって、可能性は低いとみられるものの、新型コロナウイルスについては十分解明されていないこともあるため、一般的な感染症対策や健康管理を心掛けてください。」とされています。

スタッフの健康管理を厳密に行い、感染が疑わしいものは絶対に関与しないことと、マスクや手指衛生の徹底により、無症状のスタッフからの感染リスクを低下させることに努めています。ザ・ミニッツでは、スタッフ及び結婚式に係わる関連スタッフは、始業前及び実務開始前の検温、体調確認を徹底し、体調不良者については、他者と接することの無いように配慮し、自宅で静養させる等の対応を行っております。

Q 10

ゲストとして列席を控えた方が良い場合はどのようなときでしょうか？

厚生労働省では「発熱などのかぜ症状がある場合は、仕事や学校を休んでいただき、外出やイベントなどへの参加は控えてください。休んでいただくことはご本人のためにもなりますし、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。」と提言しています。BIAのガイドラインには、「新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合、発熱や風邪の症状のある場合には、参列はご遠慮いただくよう、事前にご案内すること。「なお、来場者に発熱等の症状がみられる場合、検温等を行い、来場を制限する場合もある。」としています。ザ・ミニーツもこのガイドラインに従い、ご参列の皆様に新郎新婦様からご案内していただくことを推奨しています。

Q 11

参列者が会場に向かう時に気を付けることはありますか？

移動の際には様々なリスクの可能性がありますが、飛行機や新幹線を利用する場合でも、基本的な対策を守ることにより、感染リスクを下げることは可能です。各機関にて注意喚起されている対策としての、手洗いや手指消毒をこまめに行う、近距離での会話や食事を避ける、咳エチケットなどを守ることが現段階での最善策と考えられます。また、自家用車を利用する場合でも、複数人で乗り合わせると車内が密閉空間となりうるため、換気を十分に行うなどの対策をする必要があります。

Q 12

参加中は、常にマスクを着用した方が良いのでしょうか？

厚生労働省の発表によると、「マスクは、咳やくしゃみによる飛沫及び、それらに含まれるウイルス等病原体の飛散を防ぐ上で高い効果を持ちます。**咳やくしゃみなどの症状のある人は積極的にマスクを着用することが望ましいでしょう。**ご自身の予防用にマスクを着用することは、混みあった場所、特に屋内や乗り物など換気が不十分な場所では一つの感染予防策と考えられますが、屋外などでは、相当混みあっていい限り、マスクを着用することによる予防効果はありません。」と提言しています。

BIAのガイドラインには「**列席者の来場時には、マスクの着用を求め、ロビー、控室、式場等においては、常にマスクを着用してもらうこと、集合写真を撮影する場合は、直前までマスクを着用し、会話を控えてもらうこと。**」とされています。

ザ・ミニーツでも、挙式の際のチャペル内など、密集が避けられない場合には、マスクをご着用いただくことをお願いしております。**また、結婚式に携わる全てのスタッフにマスクの着用を義務付けております。**